

シリーズ

# いろいろな和尚さん



## 腐植還元菌和尚

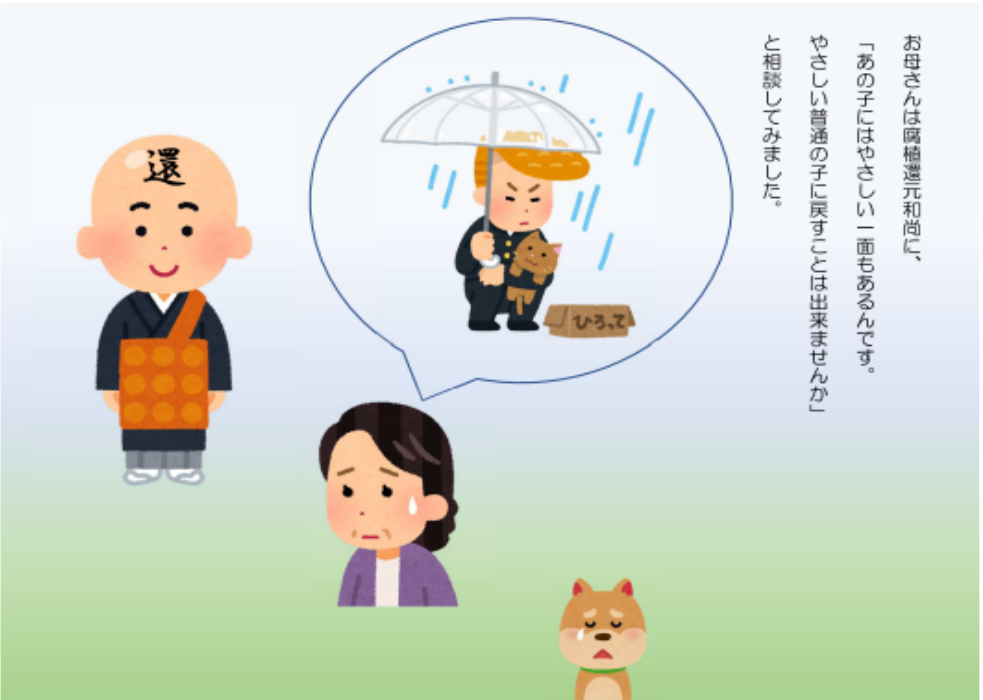
さんの巻



町を闊歩する、札付きの不良と評判の酔酸がいました。  
酔酸は町のみんなを困らせてばかりいました。



そんな様子を見かねた酔酸のお母さんは、  
腕極道元和尚に相談することになりました。



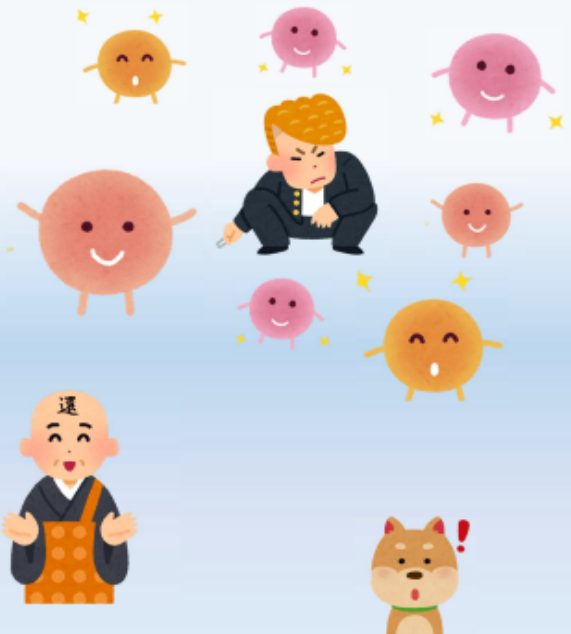
お母さんは腐桶達元和尚に、

「あの子にはやさしい一面もあるんです。

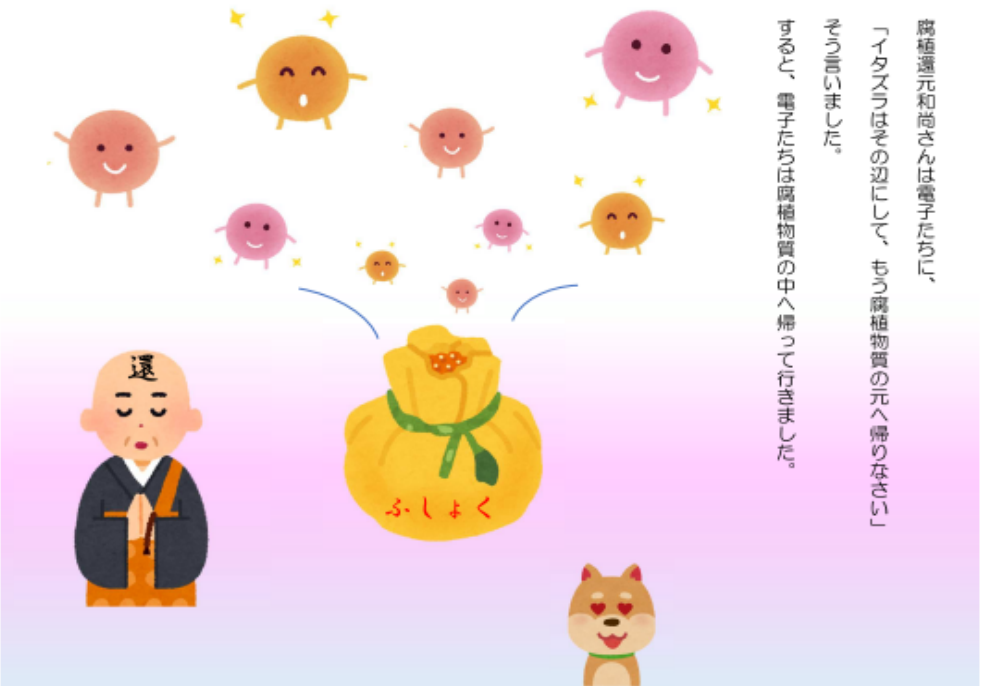
やさしい普通の子に戻すことは出来ませんか」

と相談してみました。

腐植還元和尚さんが酢酸の様子を見ると、  
イタズラ好きなたくさんの電子が、  
酢酸が悪い行いをするように周りでイタズラをしていました。



それを見た腐植還元和尚さんは、  
「電子たちのイタズラさえやめさせれば大丈夫」  
そう考えました。



麻植達元和尚さんは電子たちに、

「イタズラはその辺にして、もう麻植物質の元へ帰りなさい」

そう言いました。

すると、電子たちは麻植物質の中へ帰って行きました。

電子がいなくなると、酢酸はいつのまにか二酸化炭素に姿身して、  
町の中に自然と溶け込みました。



めでたい、めでたい。

